

令和2年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和元年8月6日

上場会社名 ビジネス・ワンホールディングス株式会社
コード番号 4827 URL <http://www.businessone-hd.co.jp>

上場取引所 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 朝樹
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営戦略室長兼業務本部長 (氏名) 藤木 洋平

TEL 092-534-7210

四半期報告書提出予定日 令和元年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期第1四半期の連結業績(平成31年4月1日～令和元年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第1四半期	2,435	2.1	221	11.2	183	20.3	126	19.9
31年3月期第1四半期	2,385	27.1	249	14.2	230	15.5	158	15.3

(注) 包括利益 2年3月期第1四半期 126百万円 (19.9%) 31年3月期第1四半期 158百万円 (15.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第1四半期	30.58	—
31年3月期第1四半期	38.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2年3月期第1四半期	16,819	2,441	14.5	588.53
31年3月期	16,608	2,346	14.1	563.44

(参考) 自己資本 2年3月期第1四半期 2,441百万円 31年3月期 2,337百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2年3月期	—				
2年3月期(予想)		0.00	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和 2年 3月期の連結業績予想(平成31年 4月 1日～令和 2年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,200	16.5	420	23.6	380	23.3	260	21.8	62.67
通期	8,500	1.9	720	2.2	620	4.2	430	2.9	103.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

以外の会計方針の変更： 無

会計上の見積りの変更： 無

修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2年3月期1Q	4,148,900 株	31年3月期	4,148,900 株
---------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

2年3月期1Q	— 株	31年3月期	— 株
---------	-----	--------	-----

期中平均株式数(四半期累計)

2年3月期1Q	4,148,900 株	31年3月期1Q	4,148,900 株
---------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、不安定な国際情勢などの影響が懸念されましたが、雇用・所得環境の改善や個人消費の持ち直し等により、景気は緩やかな回復を続けてまいりました。

このような経済状況のもとで、当社グループは、収益構造の強化を目的とし、各事業部門の収益管理をより一層徹底し、グループ全体の業績向上を目指してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高2,435,651千円（前年同期比2.1%増）、営業利益221,912千円（同11.2%減）、経常利益183,812千円（同20.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益126,877千円（同19.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①不動産事業

開発用地売却案件の繰り延べにより減収減益となりました。競売事業は東京地区を中心に伸長いたしました。引き続き在庫回転期間の短縮とともに、良質な在庫資産の取得に努めてまいります。

当第1四半期連結累計期間における不動産事業の売上高は1,780,729千円（前年同期比5.3%減）、セグメント利益114,899千円（同41.7%減）となりました。

②マンション管理事業

分譲マンションを中心としたマンション管理事業を行っております。今後も企業基盤の強化を図るとともに、抜本的なインフラの再構築をすすめ、新しいマンション管理の受託を目指してまいります。

当第1四半期連結累計期間におけるマンション管理事業の売上高は315,663千円（前年同期比10.0%増）、セグメント損失9,175千円（前年同期はセグメント損失15,605千円）となりました。

③賃貸事業

当社グループが保有する賃貸等不動産による賃料収入事業と、マンション管理物件の賃貸仲介事業など、グループの営業資産を基にシナジー効果を最大限発揮し、収益につなげる事業を拡大して行っております。引き続き一般管理物件の賃貸管理戸数の増加による基盤強化を図ってまいります。

当第1四半期連結累計期間における賃貸事業の売上高は232,872千円（前年同期比15.7%増）、セグメント利益86,877千円（同9.2%増）となりました。

④旅館事業

外国人をはじめ観光客・旅行客の増加に起因する国内宿泊施設の不足を捉え、既存マンション等の集合住宅を宿泊施設として提供する事業を展開しております。

当第1四半期連結累計期間における旅館事業の売上高は108,093千円、セグメント利益は1,139千円となりました。

⑤ソフトウェア事業

パッケージソフト販売部門において、既存パッケージソフトのiPad版のリリースなど商品ラインナップが拡充・強化されており顧客ニーズに合わせた販売活動を推進しております。また顧客サービスを充実させるべくパッケージソフトの操作指導（スクール）やサポートセンターによる既存ユーザーへの電話サポート、バージョンアップ案内などの保守分野における企画・営業活動を展開することで、複数年契約や保守契約などの収益基盤の拡充を図っております。

当第1四半期連結累計期間におけるソフトウェア事業の売上高は61,344千円（前年同期比35.8%増）、セグメント利益26,278千円（同97.7%増）となりました。

⑥ファイナンス事業

事業者向け不動産担保貸付を主として行っております。

当第1四半期連結累計期間におけるファイナンス事業の売上高は37,620千円（前年同期比113.8%増）、セグメント利益21,337千円（同493.0%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は8,957,995千円となり、前連結会計年度末に比べ179,323千円増加いたしました。これは主に営業貸付金が628,200千円増加し、販売用不動産が416,405千円減少したことによるものであります。固定資産は7,837,495千円となり、前連結会計年度末に比べ32,888千円増加いたしました。これは主に、建物及び構築物が33,487千円、土地が25,948千円それぞれ増加し、繰延税金資産が4,100千円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は16,819,212千円となり、前連結会計年度末に比べ210,272千円増加いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は8,553,398千円となり、前連結会計年度末に比べ295,532千円増加いたしました。これは主に短期借入金が349,890千円増加したことによるものであります。固定負債は5,824,080千円と、前連結会計年度末に比べ180,035千円減少いたしました。これは主に長期借入金が177,925千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は14,377,478千円となり、前連結会計年度末に比べ115,497千円増加いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,441,734千円となり、前連結会計年度末に比べ94,775千円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益126,877千円、剰余金の配当16,595千円、非支配株主との取引に係る親会社の持分変動△5,684千円、非支配株主持分の減少9,315千円の計上等によるものであります。

この結果、自己資本比率は14.5%（前連結会計年度末は14.1%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、概ね計画どおり推移しており、令和元年5月9日の「平成31年3月期 決算短信」で公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成31年3月31日）	当第1四半期連結会計期間 （令和元年6月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,733,338	1,721,673
受取手形及び売掛金	134,377	139,465
販売用不動産	6,029,131	5,612,725
原材料及び貯蔵品	1,864	1,812
1年内回収予定の長期貸付金	6,480	6,000
営業貸付金	769,900	1,398,100
その他	103,943	78,581
貸倒引当金	△362	△362
流動資産合計	8,778,672	8,957,995
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,163,576	3,197,064
土地	4,228,608	4,254,557
その他	54,923	37,620
有形固定資産合計	7,447,108	7,489,242
無形固定資産		
のれん	1,551	1,321
その他	17,442	17,008
無形固定資産合計	18,994	18,329
投資その他の資産		
投資有価証券	5,240	5,240
繰延税金資産	73,875	69,775
その他	268,296	263,816
貸倒引当金	△8,909	△8,909
投資その他の資産合計	338,503	329,923
固定資産合計	7,804,606	7,837,495
繰延資産		
開業費	25,661	23,722
繰延資産合計	25,661	23,722
資産合計	16,608,940	16,819,212

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和元年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,167	48,369
短期借入金	6,743,444	7,093,334
1年内償還予定の社債	120,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	758,266	823,216
リース債務	4,795	4,488
未払法人税等	104,209	55,666
賞与引当金	53,425	25,204
その他	421,558	383,119
流動負債合計	8,257,866	8,553,398
固定負債		
長期借入金	5,857,407	5,679,482
リース債務	7,039	6,161
その他	139,668	138,436
固定負債合計	6,004,115	5,824,080
負債合計	14,261,981	14,377,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,034	436,034
利益剰余金	1,901,609	2,005,700
株主資本合計	2,337,643	2,441,734
非支配株主持分	9,315	—
純資産合計	2,346,959	2,441,734
負債純資産合計	16,608,940	16,819,212

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成31年4月1日 至 令和元年6月30日）
売上高	2,385,783	2,435,651
売上原価	1,903,270	1,925,784
売上総利益	482,513	509,866
販売費及び一般管理費	232,582	287,954
営業利益	249,930	221,912
営業外収益		
受取利息	4,201	2,846
受取配当金	13	13
受取保険金	1,863	274
その他	2,317	1,360
営業外収益合計	8,395	4,494
営業外費用		
支払利息	24,396	38,311
社債利息	764	600
その他	2,565	3,683
営業外費用合計	27,727	42,594
経常利益	230,598	183,812
税金等調整前四半期純利益	230,598	183,812
法人税、住民税及び事業税	62,177	52,834
法人税等調整額	10,073	4,100
法人税等合計	72,251	56,935
四半期純利益	158,347	126,877
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	158,347	126,877

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成31年4月1日 至 令和元年6月30日）
四半期純利益	158,347	126,877
四半期包括利益	158,347	126,877
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	158,347	126,877
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。